

(様式)

記入例

文書番号

平成30年●月●日

大阪府教育長 様

●●高等学校

校長 谷町 太郎

TOEFL iBTチャレンジ支援事業計画書

平成30年度のTOEFL iBTチャレンジ支援事業による支援を受けたいので、本計画書を提出いたします。

記

| | | | | | | |
|---|--------------------|---|--------|----------------|-------|--|
| 活用形態等 | 参加予定数 | 1年 20人 | 2年 20人 | 3年 0人 | 計 40人 | |
| | 実施回数 | 年 2 回 | | | | |
| | 講座名 | 「TOEFLチャレンジ土曜講座」 | | | | |
| | 形態 | 1)授業 () 単位 (2) 講習 3)部活動 4)その他 () | | | | |
| | | 開講数 (2) 講座・クラス | | 1 講座 (120) 分 | | |
| 場 所 | 第1LAN教室 及び 第2LAN教室 | | | | | |
| 計画の概要等 | 実施日時等 | 実施内容 (具体的に) | | | | |
| | ① 6月10日 (土) | <第1回: TOEFLの試験になれることを目的とする Term> テストの各セクションをそれぞれの講座に振り分けて、制限時間の中で実践する。各講座ごとに60分オンラインテストを実施した後、復習、解説を60分実施する。 | | | | |
| | ② 6月17日 (土) | | | | | |
| | ③ 6月24日 (土) | | | | | |
| | ④ 7月15日 (土) | | | | | |
| | ⑤ 11月11日 (土) | <第2回: 得点UPにチャレンジする Term> 実践を意識しながらテストに挑戦する。1講座で2セクションのテストを実施。最終日は総復習にあてる。3回のテストの点数の伸びを検証する。 | | | | |
| | ⑥ 12月9日 (土) | | | | | |
| ⑦ 12月16日 (土) | | | | | | |
| 【備考】40人の生徒を2クラスに分け講座を開講し、オンライン教材の各セクションについて2講座で扱う。「オンラインテスト実施」+「復習&解説」を120分で行う。 | | | | | | |

当てはまるものに○を

授業で実施する場合は、曜日・時限等を明記する。
 (実施日時例) 1学期 毎月曜6限目
 毎金曜3限目 など

内容について補足があれば記入。

※TOEFL iBT受験計画者数 [80]人 (本番の受験を予定している生徒数を記載してください。)